

手法の創出へとつながり、また、新たな治療法開発のてがかりとなることが期待されます。リボソーム遺伝子発現は、少量の血液から比較的簡便に調べることができるため、実用化の点でも有利です。今後は、本知見の実用化を進めるとともに、リボソーム遺伝子の発現が治療の進展とともにどのように変化するのか、また、これらの遺伝子がどのようなメカニズムでうつ病の発症や慢性化に関与するのか、などについても検討を続ける予定です。

用語解説

リボソーム遺伝子：リボソームは、すべての細胞に存在する直径 15～30nm の小顆粒であり、タンパク質合成の場となる。リボソーム遺伝子は、リボソームをコードする遺伝子。

原著論文情報

Hori H, Nakamura S, Yoshida F, Teraishi T, Sasayama D, Ota M, Hattori K, Kim Y, Higuchi T, Kunugi H Integrated profiling of phenotype and blood transcriptome for stress vulnerability and depression. *Journal of Psychiatric Research*, in press

DOI: 10.1016/j.jpsychires.2018.08.010

URL: <https://doi.org/10.1016/j.jpsychires.2018.08.010>

プレスリリースより一部抜粋して掲載しております